

# 平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

## 2 事業報告概要

### 地域の現状と課題について

青葉台連合自治会・青葉台地区福祉協議会のエリアを青葉台地域ケアプラザと当ケアプラザが協力して地域の課題等について共有している。

この地域は、以前から自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員、老人会など様々な団体が活発に行われており、共通する活動については2つのケアプラザが日頃から連携を取り情報共有を行っている。特に地域福祉保健計画地区別計画の推進では、3ヶ月に1回支えあいネットワークを開催し、地域の代表者や行政と共に、情報共有と課題解決に向けての活動を行っている。また、地域の様々な行事に参加し顔の見える関係作りにも努めた。

担当エリアの高齢化率は平成 27 年 9 月 30 日現在 18.8%となっている。高齢化が年々進んでいくエリアのため、介護予防や閉じこもり防止などに役立つプログラムをケアプラザ内で開催すると共に、地域にも出向いて活動を行った。また、このエリアには小学校が2校、中学校が1校と児童数も他のエリアよりも多い。将来に向けて、学校との連携も活発に行うと共に、地域に住む子育て中の親や未就学児童を対象にした活動も行い、次世代に向けての継承者を育てていく活動を行っている。デイサービスなど高齢者向けの施設であるという印象が地域に定着しがちであるが、ファミリー層や子供たちにも目を向け参加できる場づくりと全世代の為の地域の活動の場である事を継続的に地域にアピールしていく事が出来る仕組みを構築していく。

## 3 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

基本協定書に基づき、公共の施設を管理していることを強く念頭に置いて、建物及び設備の維持管理を今まで以上に注意深く点検し対処した。開所 17 年目を迎え、劣化や耐用年数を越えたものが出始めたため、早め早めの手当でできるだけ長持ちさせるように部品交換をおこなった。

職員による日々の点検と専門業者による定期点検で、良好な環境を維持し、利用する方々にとって、安全・安心・清潔な場所であり続けるよう施設の保守管理に努めた。

短期・中期・長期の修繕計画を立て、不都合が起こる前に手が打てるような体制をとっている。

内部だけでなく外から見ても不快感を与えることのないように、植木の手入れや雑草取り、清掃を心がけ施設の維持管理を行った。

### イ 効率的な運営への取組について

法人の基本理念に則り、公益性・公共性を重視しつつ、第 2 期福祉保健計画と地域包括ケアシステムを念頭におき、行政・自治会・医療機関・薬局・介護保険事業所・家族・関係者と連携した高品質なサービス提供に努めた。

徹底したごみの分別やりサイクルを行うとともに、節電・節水など館内にチラシを掲示し、省エネに努めムリ・ムダ・ムラのない効率的な運営を行った。

#### ウ 苦情受付体制について

当法人作成の苦情対応マニュアルを基に、苦情相談窓口の文書を掲示し、その中に責任者名・担当者名・第三者委員名を明記するほか、横浜市の「ご意見ダイヤル」のポスターを貼り出すなど、意見が言いやすい環境づくりを心がけた。

些細な苦情といえども、迅速で適切な処理を、誠意をもって行うことを基本として行い、苦情はなかった。

介護保険事業については、重要事項説明書に担当者名を記載するとともに、区役所と神奈川県国民健康保険団体連合の所在地と電話番号及びFAX番号を記載し、公的機関に対しても苦情申出等ができることを説明し対応できるようにした。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

当法人作成の緊急時対応マニュアルを基に、適切な対応がとれるよう確認した。

防犯対策として、夜間の時間帯は必ず2名の職員が勤務し、閉館時は警備会社による機械警備を行った。またパソコンにはすべてセキュリティーキーをつけ盗難に備えた。またパスワードを設定するなどの対策を怠らないようにした。

パソコンデータの管理についても、USBでの管理から、ケアプラザ内のネットワークの構築によりサーバー管理とし、セキュリティシステムにより安全なデータ管理システムを構築している。必要なUSBについては、鍵のかかる書庫に保管し持ち出し禁止としている。

防災対策としては、避難訓練をデイサービスの利用者に加え貸館の利用者にも参加していただき、火災の場合の避難や震災時の対応などを実施した。また、青葉台地区「第2期地域福祉保健計画あおばかがやく生き生きプラン」とり組として、地域の介護施設支援訓練に参加した。特別避難場所に指定されている施設として、応急備蓄品の適正な管理を行うとともに、緊急連絡網も作成し連絡体制を徹底した。

#### オ 事故防止への取組について

当法人作成の事故対応マニュアルを基に、事故を起こさないよう常に注意を呼びかけ、また事故が起きた際には、横浜市への報告や法人内での報告、保険適応有無などの手続きを速やかに行い、処置が適切に行えるようにした。

ヒヤリハットが起こった時には、全員の共通課題として取り組み、原因について検証し改善策を講じて、同じ事故を起こさないようにした。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

年度初めに、職員全員に個人情報保護に関する研修を行い「個人情報保護に関する誓約書」に署名をもらい、横浜市長に提出した。中途採用の職員も同様にその都度行うとともに、常に緊張感を持って個人情報に接するよう注意を促すとともに、研修会を開いて認識を深めた。

個人情報取扱規程に基づき、漏洩防止・保護に努めた。

個人情報保護方針・個人情報問い合わせ担当者などを明記し、玄関風除室に掲示している。

また、法人内で個人情報の取り扱いについて研修を行い、法人全体で共通認識ができるようにした。

## キ 情報公開への取組について

広報紙を毎月発行し、地域に常にタイムリーな情報を提供できるよう自治会に協力いただき、回覧と掲示を行った。また、区役所・区社協のケアプラザ専用ラックにより情報提供を行った。また、区報の活用により、地域の方が情報を見る機会を多くすることができた。

また、エリア内の小中学校・幼稚園・保育園を対象に「学校用 mini ひろば」を発行し、子供や子育て世代の親向けの情報発信を行った。横浜市や青葉区などの公的機関のホームページや介護サービス情報の活用。法人ホームページ内ブログの更新など、地域に向けてできる限り公表に努めた。

事業計画書・事業報告書・予算書・決算書などを、いつでも誰でも見られるようにファイルして、受付カウンターの横に置いている。

一事業所としてではなく、地域の活動拠点である地域ケアプラザが公的な行政機関の一員という責任の重さを自覚した取り組みを行っている。

## ク 人権啓発への取組について

思いやりの心を育てることをねらいとして以下のような取り組みを行った。

- ①小中学生向け認知症サポーター養成講座の開催
- ②エンディングノートの普及と啓発
- ③子育てわいわい広場を、区役所、青葉台南部民生児童委員協議会と連携して定期開催している。
- ④読み語り講座のボランティアを育成した。活動を通じて子どもから高齢者までの幅広い年代が、共通した目的で取り組むことができる『場づくり』を行った。
- ⑤デイサービスの職場体験・幼稚園・保育園・小学校と利用者の交流を行った。

## 環境等への配慮及び取組について

節電・節水等を職員一人一人が心がけるようにするとともに、明るさをそれほど必要としない場所の蛍光灯は、数を間引いたり、エアコンの設定温度も夏は 28 度、冬は 20 度を目標とし気を配った。

ごみ担当委員を配置して、分別の徹底（紙類・燃やすごみ・金属・プラスチック・ペットボトルなど 21 種類に分類）や減量化、リサイクルの促進に努めた。ペットボトルのキャップやプリンターのカートリッジは回収ボックスを設置した。

牛乳パック・空き缶・ペットボトルなどは、事業の中でゲームや工作の材料として使用するなど、ゴミの軽減化の工夫をした。

## 4 介護保険事業

### (1) 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者	1名（常勤 兼務）
保健師	1名（常勤 専従）
社会福祉士	1名（常勤 専従）
主任ケアマネジャー	1名（常勤 兼務）
プランナー	1名（非常勤 専従）

#### 《目標》

担当地域内に居住するよう支援1・2の認定を受けて利用者に対し、可能な限り、住み慣れた地域で安心して生活が送れるようにするために必要な介護サービスが適切に提供できるように、利用者の選択に基づいた自立支援のための介護予防サービスや支援計画を作成する。また、地域のケアマネジャー事業所に委託予防プランを受け入れてもらうことにより、ケアマネジャーの支援を行っていく。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》



#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

担当制により、3職種の専門性を生かし、チームとして利用者に対応し、必要に応じて連携を取りながら支援を行っていく。また、地域の社会資源やインフォーマルサービス等を組み合わせたプランの作成を積極的にすすめていく。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
87	88	88	87	89	95
10月	11月	12月	1月	2月	3月
97	94	98	95	97	95

## (2) 居宅介護支援事業

### 《職員体制》

管理者	1名	(常勤兼務)	
介護支援専門員	6名	(常勤専従 3名)	(非常勤専従 3名)

### 《目標》

特定事業所加算Ⅱの事業所として、計画的な研修の実施および介護支援専門員1人ひとりの個別研修計画を作成し、ケアマネジメント技術を向上すると共に、ご利用者とご家族が、安心して自立した在宅生活を送る事ができるよう支援を行った。

また、24時間の相談連絡体制を確保し、週1回のカンファレンスを行い、支援困難ケースについても積極的に受け入れた。

- (1) 利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、提供されるサービスが特定の種類・事業所に偏らないよう公平中立な立場で支援を行った。
- (2) 利用者の能力に応じ、自立した生活を維持するために適切なサービスが受けられるよう、心身の状況や環境、家族、介護者の希望を把握し、要介護状態の悪化防止となるようなケアプランを作成した。
- (3) 利用者宅を定期的に訪問し、サービス内容についてモニタリングを行い、サービスの実施状況の把握、サービス調整の必要性について確認を行った。
- (4) 介護支援専門員実務研修の実習生を積極的に受け入れた。

### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》



### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センターを有する地域ケアプラザに所属する居宅介護支援事業所として、公平中立な立場でケアマネジメントを行った。

また、契約の有無にかかわらず広く相談を受け、介護保険に関する事項や横浜市の行政サービス、地域の社会資源などの情報提供を積極的に行った。

### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
144	139	144	139	142	141
10月	11月	12月	1月	2月	3月
146	146	141	145	149	146

(3) 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康状態の観察
- 昼食・おやつ
- 生活指導・相談
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●	1割負担分	2割負担金
(要介護1)	692円	1,383円
(要介護2)	817円	1,634円
(要介護3)	947円	1,894円
(要介護4)	1,077円	2,153円
(要介護5)	1,206円	2,412円

別途

(入浴加算/サービス提供体制強化加算Ⅱ/個別機能訓練加算Ⅰ/処遇改善加算Ⅱ)

- 食費負担 750円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	2名（常勤兼務）
看護師/機能訓練指導員	3名（常勤3名）
介護職員	10名（常勤3名 非常勤7名）
調理員	6名（常勤1名 非常勤5名）
運転手	4名（非常勤4名）

《目標》

通所介護計画書に沿って、個人の目標現実・ADL・IADL 現実維持に向けたサービスを提供した。また、機能訓練計画書に沿った個別機能訓練を実施する事ができた。また、医療面のリスクの高いご利用者様をお受けする事ができた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

入浴されない方への足浴を実施し、セルフケア不足を補うために爪切り等行い利用者様のご希望に沿うケアを行った。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
745	741	697	671	660	671
10月	11月	12月	1月	2月	3月
681	650	590	554	643	712

(4) 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康状態の観察
- 昼食・おやつ
- 生活指導・相談
- 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●	1割負担分	2割負担金
(事業対象者)	1,766円/週1回	3,513円/週1回
(事業対象者)	3,621円/週2回	7,241円/週2回
(要支援1)	1,766円/月	3,513円/月
(要支援2)	3,621円/月	7,241円/月
別途（運動器機能向上加算/サービス提供体制強化加算1.2）		

●食費負担 750円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	2名（常勤兼務）
看護師/機能訓練指導員	3名（常勤3名）
介護職員	10名（常勤3名 非常勤7名）
調理員	6名（常勤1名 非常勤5名）
運転手	4名（非常勤4名）

《目標》

介護予防通所介護計画書に沿って、個人の目標現実に向けたサービスを提供できた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ホットパックを使用し、筋肉の動きを和らげ全身の機能を向上させ転倒予防、筋力維持に努めた。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	22	19	19	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	18	18	20	19	18

## 5 地域ケアプラザ

### ア 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

「ケアプラザの紹介」パンフレットに加え、別紙で「包括支援センター」についてのしおりを作成し入り口にわかり易く配架している。各種講座の冒頭でケアプラザの役割や包括支援センターが相談窓口であることを分かりやすく説明した。

広報誌ひろばを毎月発行し、各自治会へ回覧。掲示の依頼し、区役所はじめ社協、医療機関などで閲覧できるよう窓口の情報を提供している。

エリアの幼保小中学生向けに季刊誌「学校ひろば」発行。子どもや子育て世代の親向けの講座開講をし、ケアプラザに足を運ぶ機会を増やしプラザの機能の周知、身近な存在としてのアピールを継続して行った。年々子どもや母親の参加者が増加している。ケアプラザの自主事業、デイサービスの様子や講座の様子を年間通してブログに掲載しその様子を広く伝達する努力を行った。

#### 〔高齢者〕

民生委員、自治会役員との密接な関係を保ち、地域の情報収集に努めた、また常に相談を受け入れやすい体制を組み、対応が困難なケースについても関係各署と連携を図り継続支援に努めた。

年1回見守り連絡会の開催、包括カンファレンスで、民生委員とケアマネジャーとの連携をテーマにディスカッションできる場を設けた。

地域交流の講座に引きこもり防止や見守り活動を目的とした、通年参加できるプログラムを増設し、仲間同士で見守る意識が高まる仕組みづくりを行った。

#### 〔こども〕

子育て支援拠点「ラフル」と連携を図り、エリアの保育園や子育て支援者との「エリア別子育て意見交換会」を1回行った。

食生活等改善員（ヘルスメイト）と共催で子ども向けの食育講座を行い、子供たちの見守りとし知識や興味の向上、子育てママに必要な情報の提供を行った。

夏休みには余暇支援、子どもの居場所づくりとして「朝の一コマ体操」、「自学習スペースの開放」「今日は一日ケアプラザ」という世代間交流ができるイベント開催を行った。

未就園児、未就学児の居場所づくりとして、幼児の心身の発達を目的とした継続講座、を開催。相談などが関係各署へ繋がるよう、情報の提供に努め支援を行った。

#### 〔障害者〕

『ほっとサロン青葉』と連携し相談窓口を常設している。地域のみならずケアマネジャー等にとっても、身近な相談機関として機能している。

障害者のいる高齢世帯は、困難ケースとなりやすいので、区とも連携をとり問題が拡大する前に、早めの介入・支援を行えるよう努めた。

地域活動ホーム「ステップ」をはじめ、「えだ福祉ホーム」「青葉の風」「麻生養護学校」「社」グリーン」その他の障害施設の活動内容を深く理解し、その活動支援になるように行事を通じて協力した。

### イ 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

定期的に会議を行い5職種が情報の共有を行い、方向性を定めて目的に向かうよう努力している。講座やカフェでの情報の共有と当日の活動への参加、活動の振り返りや課題の共有を行った。エリアの小中学生を対象にした「認知症サポーター養成講座」開催時も役割分担を行い学校、児童への啓蒙活動を行っている。

独居高齢者の安否確認を目的に発足した配食サービス「はなみずき」は（生活支援 CO含む）包括支援センターと地域交流・生活支援コーディネーターやボランティアが共に訪問をし、安否確認を兼ねて配達を行っている。

地域高齢者引きこもり防止と介護予防を兼ねた「にこにこ茶話会」も協働し、職員も含んだ集いの場を作っている。



常に5職種の連携を念頭に置き、月1回の包括カンファレンス及び包括会議では区役所からの情報共有や、それぞれの所属する分科会で話し合われた内容について共有し、職種間の連携を図った。

また、個別ケース地域ケア会議を年3回開催し、地域課題についての話し合いを行った。介護保険サービス事業所やインフォーマルサービス事業所を対象に、包括エリア地域ケア会議を開催した。包括支援センターより年度の前半に開催した個別ケース地域ケア会議のケースについて、情報提供及び地域課題について検討した。

地域ケア会議が、どのようなものであるかなど事前に説明を行ない会議に臨んでもらうようにした。

年度末の運営協議会では包括エリア地域ケア会議を行い、運営協議会のメンバーと地域の課題について共有することが出来た。

所長と5職種の連携がスムーズとなるよう、また協議体の開催に向けて月1回4者会議（所長・主任ケアマネジャー・地域交流 Co・生活支援 Co）を行った。

## ウ 職員体制・育成

地域包括支援センター・地域活動交流・通所介護・居宅介護支援の4つの事業実施にあたり、それぞれの基準に則り、資格及び人員を配置している。また、今年度から横浜市が配置した生活支援コーディネーターも加わり、包括支援センター3職種・地域活動交流コーディネーターと合わせて、5職種連携で事業に取り組める体制づくりができた。

職員の育成は一人一人がプロとして自信をもって職務を遂行できるように、常勤非常勤を問わず、外部研修に積極的に参加させ、個人のスキルアップを図るとともに外部研修に参加した職員には報告を義務付け、所内研修での情報の共有化を図った。特に新任の職員には、すぐ実践で役立つ基礎知識や実務に関する外部研修を受講させている。

毎月行われる法人内研修にも、積極的に参加した。

## エ 地域福祉のネットワーク構築

青葉台地区社会福祉協議会の会合や活動に積極的に参加した。また、各団体の行事（地区社協の福祉まつり、自治会の夏まつり、小学校の福祉体験、防災拠点や自治会の防災訓練など）には参加し協力をした。

青葉台地区支えあいネットワークでは、青葉台地域ケアプラザと共同開催し、子育て支援に特化したボランティア構築について話し合い、地域の施設のニーズをリサーチすると同時に、人材を掘り起こすことを目標にボランティア育成を活動に取り組んだ。施設や地域ニーズとボランティアをマッチングすることで継続的に活動が活性化できるしくみについて模索し検証した。

青葉区社会福祉大会では、「青葉かがやく生き生きプラン」中学生版の発行に至るまでプロジェクトに参加した。

## オ 区行政との協働

第3期青葉区地域福祉保健計画区計画プロジェクト会議・青葉台地区サポートチーム会議に参加し意見交換を行うことができた。また、青葉かがやく生き生きプラン青葉台地区推進会議にもメンバーとして出席し、地域の課題や今後の取り組み（活動など）について検討を重ねた。

支えあいネットワークの活動としてはボランティア活動の場を集約し、支えあいネットワーク便りを通じて地域にボランティア活動を呼びかけ新たな人材の発掘、登録者の確保をし、活躍の場の提供やボランティア育成講座を開催した。新しい活動の場の発掘と人材のマッチングシステムの構築を課題とし次年度につないでいく。福祉保健課との協力による子供の歯磨き指導1回。区の栄養士の指導を受け、食生活等改善員（ヘルスマイト）による小学生向け「食育講座」、地域住民向けの「防災食の試食と調理デモ」を行った。

## 地域活動交流部門

### ア 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

ケアプラザの紹介パンフレットや「包括支援センター」についてのしおりを作成し、継続して配架している。各種講座の冒頭でケアプラザの役割や包括支援センターの所在の啓蒙を強化し、ケアプラザの活動の情報がより伝わるよう努力した。「広報誌ひろば」は毎月発行し、利用団体のリアルタイムな活動報告や次月活動日を明記。予約が入れやすいシステムへ繋げた。

団体を取材して懇親し、活動の様子や会員募集の記事作成。回覧、プラザ内の紹介コーナーで掲示し協働しながら工夫を行った。デイサービスや居宅支援、包括支援センターの役割が伝わる誌面をつくり、「協力医のコラム」、「健康に関わる情報」の発信も行った。回覧板でも目にひくよう、誌面はカラー刷りとデザイン力 UP で問合せ件数の増加に繋がった。

「活動団体報告会」を行い、来館団体同士が「顔の見える関係づくり」を行った。

課題の共有、活動コラボレーションなど様々な発展が見られた。

広報紙、チラシを定期的に各自治会へ回覧・配布・掲示物として依頼し、区役所はじめ社協などで閲覧できるよう情報提供をしている。ケアプラザの周知拡大のため、回覧版と併用し毎月「区報」を活用し、新しい人材の確保に結びついている。

エリアの幼保小中学校の余暇の前には親子や子供向け講座の企画に盛り込み、その情報を「学校ひろば」と称し子供や子育て世代の保護者向けに継続発信している。

ケアプラザの自主事業、デイサービスの様子や講座風景をリアルタイムにブログに掲載し、その様子を広く伝達する努力を行った。

部屋利用団体活動の紹介の常設、各活動団体の作品の常設を行っている。自主活動団体の意欲の向上と新規会員の募集にも助力をし、力を入れて行った。

地域の行事に職員が連携して積極的に参加をした。結果、地域の情報の収集や顔の繋がりに通じた。

さつきが丘小学校4年生を対象とした「認知症サポーター養成講座」の開催が、2回目となり、次年度からは、毎年開催してほしいと要請あり継続開催出来る事となった。エリア内全ての小中学校を対象に毎年定期開催出来る事となった。「認知症サポーター養成講座」をきっかけに福祉体験、デイサービスご利用者様との交流会なども積極的に行われた。

民生児童委員、学校コーディネーターとの交流と情報共有を行い、顔の見える関係づくりを行っている。

運営協議会のメンバー他、区や社協職員を招き、年に2回に「食事会」を行った。多年に渡り地域貢献をしている、さつきが丘地域ケアプラザの自主活動団体の活動の様子と情報の共有、意見交換の場を設けることができた。

### イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館の予約状況は、3ヶ月先まで予約時即更新し掲示している。空き情報の発信と夜間帯での利用をPRしている。夜間と土日の有効活用も活発化してきている。

高齢者、若年層団体への配慮はもとより、子ども食堂や中高生ミュージカルの団体の利用も継続して行っていく。地域の新しい人材の発掘につなぐべく「多世代・異世代交流」へと発展する企画も盛り込んで行った。

今年度は地域の子どもたちの「余暇支援」を意識し居場所づくり、学習支援も取り入れた。また、子どもを見守るボランティアの育成に力を注ぎ、学習支援や読み語りを支えるボランティア団体が発足、継続した活動展開が始まった。

## ウ 自主企画事業

講座実施後のアンケートやヒアリングで参加者のニーズに掘り起し次の活動への参考人している。

定年高齢者（男性）を対象にした「いきいきセミナー」修了者の活動は1期から5期までそれぞれ継続活動がなされており、当ケアプラザの主幹となったボランティア活動人材である。今年度は新たに「男の太極拳」講座を開設し料理が苦手でも仲間づくりができる定年後の男性グループの育成を開始した。各団体も高齢化が進み会員が減少傾向にある点が問題にあがり、広報誌での呼びかけや、活動の紹介、また体験会をケアプラザが協力して行った結果、新規会員を各期で募ることができ概ね定員数を満たし、新たな担い手の育成にもつながった。

ケアプラザの特色で調理団体が多いため、衛生面や料理のスキルアップの講座を増設し啓蒙活動と自己啓発の機会を作った。講座から自主事業団体やC団体へと移行する団体が増えてプラザ内でのボランティア活動も活発化した。

また、料理やハーブ、アロマ講座、ラジオ体操、リースづくりなど多世代交流を目的とした講座も開講し、小学生から子育て世代の親、高齢者が同じ空間で交流する機会が増えた。

区の「ニコピカ歯磨き教室」、ヘルスマイト共催の子ども、高齢者向けの「食育講座」、青葉区社協後援の日本赤十字社共催事業の積極的に取り入れて、その後も定期的に防災をテーマにした勉強会と交流会を行った。自治会のも積極的に声をかけ地域の防災活動促進に寄与し、専門機関との連携も行った。

## エ ボランティアの育成及びコーディネート

包括エリア内全ての小中学校で児童・生徒を対象に、認知症サポーター養成講座を当ケアプラザ職員と民生委員、社協や他ケアプラザ職員、学校教職員と連携して、に行った。

さつきが丘小学校は今年度初参加が実現し、4年生の学習、デイサービスとの交流、父兄向けに発表が行われた。

「ボランティア感謝会」、「自主事業報告会」の開催で「ボランティア間とケアプラザ」また、「ボランティア同士」の横の繋がりを大切に育むことができた。顔が見える関係づくりにより、「秋祭り」や「福祉祭り」のような地域の大きな行事に縦割りでも遣り甲斐、仲間意識をもって参加ができた。毎週行われる子育て支援、季節ごとに行う学習支援のボランティアも充足した。

いきいきセミナー修了の男性ボランティアが長年培っている餅つきを地域の子育て世代や自治会の活動で伝承する機会も多かった。職員とボランティアとが手伝いに出かけて地域との繋がりを深める継続した活動を行った。

今年度は講師を招いて読み語り講座から「ハッピードロップ」という読みがたりボランティアの育成を行った。1月から子育て支援の場やデイサービスでボランティア活動を開始した。その他の団体も育成中である。

支えあいネットワークでも地域の人材発掘で新たなボランティアが多数加わって、館外の地域の事業所、施設へのボランティアコーディネートをし、その活動報告会、またボランティア育成講座も行った。夏には地域の子どもたちの見守りと余暇支援を兼ねた居場所づくりにより子育て支援を希望するボランティアをコーディネートイベントを行った。世代間交流が生まれ1日楽しい時間を過ごせた。新たな人材発掘・育成を継続して地域で活躍できる基盤が生まれている。

## 7 地域包括支援センター

### (1) 総合相談・支援

#### ア 総合相談

介護に関する相談や、介護予防としての地域の医療情報についての情報提供、介護保険に関する相談や申請代行、行政サービスやインフォーマルサービスの情報提供、高齢者の権利擁護や虐待防止等に関する相談を受けた。相談内容については、区に相談票として提出し、連携を通して支援を行った。また、地域の民生委員、医療機関（医院、薬局）、商店会（青葉台南）、新聞配達業者など、地域との連携を深め、情報収集に努めた。

#### イ 地域包括支援ネットワークの構築

地域の介護サービス事業所、インフォーマル事業所、自治会・老人会・民生委員・保健活動推進員などの地域住民・医療機関や医師会・歯科医師会・薬剤師会などとの連携を行い、地域や個別のニーズ及び課題の発見・相談・支援機能を構築した。引き続き、住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活ができるよう支援して行く。

##### ①地域の医療機関や、民生委員等との連携

医療機関、薬局、訪問看護との連携…包括カンファレンス・地域ケア会議  
民生委員との連携・・・包括カンファレンス、民児協定例会・地域ケア会議  
保健活動推進員との連携・・・元気づくりステーションなど

##### ②関係会議へ参加

ケアマネジャー支援を目的に、個別の相談、サービス担当者会議開催支援、担当者会議への参加など要請に応じ行った。

##### ③包括カンファレンスの開催

多職種連携をテーマに包括カンファレンスを開催し、事例検討や勉強会を行った。  
また、介護予防従事者研修（1回）、権利擁護（2回）の勉強会を実施した。

##### ④新人ケアマネジャー・就労予定者ケアマネジャーに対する実習支援

主任ケアマネジャー分科会の活動として、ケアマネジャー勉強会の支援や、新人ケアマネジャーを対象にした実習支援を行った。

##### ⑤支援困難事例についての支援

- ・月1回程度、エリア内の居宅介護支援事業所を訪問、又は委託先居宅介護支援事業所へ連絡をし、委託利用者の状況確認やケアマネ支援を行った。
- ・ケアマネジャーからの依頼により、担当者会議に出席し、支援を行った。
- ・ケアマネジャーからの電話や来所による相談に対応して支援を行った。

##### ⑥地域ケア会議の開催

個別ケース地域ケア会議を、年3回。包括エリア地域ケア会議を年1回開催した。

##### ⑦地域包括ケアシステム

- ・ケアマネ連絡会主催の医療と介護の連携をテーマとした連絡会に出席した。
- ・ねっとわーく青葉の区全体会に出席、地区別を開催し地域の中での中核的な役割を担った。

#### ウ 実態把握

支えあいネットワーク、地区社協、民児協連絡会等、定期的に参加することで、地域の情報を知り、課題を共有し、状況把握をすすめ、適宜個別訪問を行っていく。

地域情報・介護サービス情報をファイリングしいつでも情報提供できるようにする。

地域の医療機関（医科・歯科）・薬局・商店会・新聞販売店などへ4ヶ月に1回程度訪問し、包括支援センターの紹介チラシを設置してもらった。

顔の見える関係を構築するように努めることで、地域からの情報を得るきっかけとなり、個別ケースの生活課題等の早期発見につながった。

年1回利用者アンケートを実施。結果をもとに課題分析し対応出来るように努めた。

## (2) 権利擁護

### ア 権利擁護

成年後見制度や消費者被害に関する情報提供や普及啓発活動として講座を老人会や地域の活動で積極的に行った。

認知症により、金銭管理が困難となったケースをもとに、成年後見制度を活用するための事例検討会（サポートネット）年5回開催し、全回参加した。

### イ 高齢者虐待

虐待事例に対しては、区と連携し、ケアマネ支援や必要に応じて同行訪問などの対応を行った。

区で実施している虐待ミーティングに各職種が参加し、虐待ケースの早期発見、対応について学習や確認を行った。

徘徊高齢者連絡会に出席し、交通機関、金融機関、消防、警察など地域の関係機関との情報交換を行った。

ケアマネジャー向けに、高齢者虐待疑いケースの事例検討会を開催した。

### ウ 認知症

認知症サポーター養成講座を年7回開催（他包括と共催の郵便局・消防署含む）

地域における認知症の正しい理解や対応の普及に努める。内3回は、若年層の認知症への理解を深めるため小中学生対象の講座とした。

実際に介護されている介護者向けに「介護者のつどい」を年10回開催した。

（うち1回は、通所介護施設の見学会を開催）

認知症介護者の介護疲れにより虐待に至るケースが多いことから、介護者の心のケアを行って虐待の防止に努めた。

多世代交流カフェ（認知症カフェ）を、しらとり台地区で新たな立ち上げができ、定期に開催に結びついた。

## (3) 介護予防マネジメント

### ア 介護予防ケアマネジメント力

介護予防の必要性や目的について理解できるように具体的に説明して要介護状態にならず自立した日常生活を営むことができるようにする。

また、生きがいや自己実現のための取組みを総合的に支援することによって生活の質の向上を目指すような取組みを行った。

高齢者の集まるサロンなどに出張するなどし、健康講話・体操の実施を行なった。

## (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

### ア 地域住民、関係機関等との連携推進支援

#### ①地域の医療機関や、民生委員等との連携

医療機関、薬局、訪問看護との連絡会・・・包括カンファレンス、地域ケア会議

民生委員との連携・・・包括カンファレンス、民児協定例会、地域ケア会議

地域との連携・・・ふれあい見守り連絡会・支え合い連絡会

#### ②関係会議へ参加

ケアマネジャー支援を目的に、個別の相談、サービス担当者会議開催支援、担当者会議への参加など要請に応じ行った。

#### ③地域ケア会議の開催

個別ケース地域ケア会議を年3回。包括エリア地域ケア会議を年1回開催した。  
多くの地域住民に出席していただいたことで、生活に密着した地域の課題が抽出できた。また、エリア地域ケア会議をケアプラザ運営協議会に引き続いて開催し、地域を代表するメンバーへ、抽出された地域課題についての意見交換を行う事が出来た。

## イ 医療・介護の連携推進支援

### ① 括カンファレンスの開催

多職種連携をテーマに包括カンファレンスを開催し、事例検討や勉強会を行った。  
また、介護予防従事者研修（1回）、権利擁護（2回）の勉強会を実施した。

### ② 地域ケア会議の開催

個別ケース地域ケア会議を、年3回包括エリア地域ケア会議を年1回開催した。  
医師や看護師に出席を依頼し、医療の視点からの意見を聞くことが出来た。

### ③ 地域包括ケアシステム

ケアマネ連絡会主催の医療と介護の連携をテーマとした連絡会に出席した。  
ねっとわーく青葉の区全体会に出席した。また、地区別会議を開催し企画運営など中核的な役割を担った。

## ウ ケアマネジャー支援

### ① 人ケアマネジャー・就労予定者ケアマネジャーに対する実習支援

また、主任ケアマネジャー分科会の活動として、ケアマネジャー勉強会の支援や新人ケアマネジャーを対象にした実習支援を行った。

### ② 支援困難事例についての支援

- ・月1回程度、エリア内の居宅介護支援事業所を訪問、又は委託先居宅介護支援事業所へ連絡・訪問をし、委託利用者の状況確認やケアマネ支援を行った。
- ・ケアマネジャーからの依頼により、担当者会議に出席し、支援を行った。
- ・ケアマネジャーからの電話や来所による相談に対応して支援を行った。

## エ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

フォーマル・インフォーマルに関わらず、多様な社会資源を活用できるよう、高齢者個人に対する支援の充実に加え、社会的基盤の整備・推進を目指して5職種が連携し様々な活動を行った。

包括カンファレンスでは、インフォーマルサービスを視野に入れたケアプラン作成に役立つことが出来る機会を設け、ケアマネジャー同士の情報交換・意見交換を行った。

また、民生委員とケアマネジャーの連携を目的とし、見守りについての課題の共有、意見交換を行った。

ケアマネジャーやサービス事業所を対象に包括エリア地域ケア会議を行い、地域ケア会議の目的や地域課題の共有、意見交換を行った。

個別ケース地域ケア会議を年3回、エリア地域ケア会議を年1回開催し、地域で支えるネットワーク強化を目指していく。

## (5) 介護予防事業

### ア 介護予防事業

#### ① 介護予防事業の普及、啓発活動

ケアプラザ広報紙「ひろば」にて、介護予防や疾病予防について、協力医と連携し、地域住民の疾病予防・介護予防に関する記事を作成し啓発を行った。

ケアプラザ内で開催した高齢者向けの講座やサロン等で、介護予防に関する講話や運動の指導等を行い、正しい知識を得られるよう普及と啓発を行った。

「ボランティア応援隊」(ボランティア養成講座) 年2回

#### ② 介護予防事業関連の講座の開催

一般高齢者を対象として

元気づくりステーション:「しらとりサロン」月2回

「さつき盆踊りの会」月1回 「歩こう会」月2回

「ふれあい広場」(年10回)

「健口セミナー」「血圧の講話」 「健康寿命をのばそう」4回/年

介護予防に関する講座:「ロコモ予防講座」「さつき食堂」(年3回)

「アクティブセルフケア・体幹トレーニング講座」「健康と防災について」

「出張ロコモ予防体操(2回)」(Yume プラザ)

「介護予防運動(スクエアステップ)」 「音楽の調べ」

#### ③ ひきこもりやうつ等の高齢者に対し訪問型のケアマネジメントを実施

区の訪問看護師・保健師と連携・訪問等を実施

## (6) 生活支援体制整備事業

### ア 実施したこと

①住民アンケートやインフォーマル団体などの社会資源の情報収集では、11月に60歳以上を対象にした住民アンケート「暮らしのお困りごとアンケート」を実施した。サービス情報については県と市の見守り協定、不動産、薬局等をリスト化した。

②前出「暮らしのお困りごとアンケート」は、12月開催のケアプラザ運営協議会で、集計結果を発表し共有するとともに、アンケートに協力いただいた団体や個人、自治会、ボランティアグループに地域包括ケアシステムや協議体などを説明した。

③課題を把握・共有し協議体開催に向けての検討・準備を目的として、10月から毎月1回、4者会議(所長、包括(主マネ・生活支援Co)、地域交流Co)を開催している。2月の青葉台南部地区青葉ふれあい見守り事業連絡会で初の協議体を開催している。今後の協議体開催に向けて取り組んでいる。

④包括カンファレンスや地域ケア会議等を通じ、区役所や区社協と情報交換を行っている。区社会福祉協議会に協力頂き、「個人情報適切な利用と保護」をテーマとした住民向け講演会を企画し、開催し好評を得ることが出来た。

⑤青葉台連合内にある青葉台地域アプラザと協力し、次年度より協議体とする支えあいネットワークを運営している。地域住民のボランティア活動がより活発になるよう情報の共有化を図る取組を行っている。

⑥日常生活圏域では「歩こう会」「さつき盆踊りの会」「しらとりサロン」の元気づくりステーションが開催されており、生活支援コーディネーターも積極的に参加した。また自主事業団体の活動を広報紙に取り上げたところ、活動に興味を持ってもらうきっかけとなり、新たな参加者の発掘につながった。

⑦生活支援コーディネーターの顔と名前・役割を知ってもらえるよう、自治会の会合、地域住民が集うサロンや老人会などを訪ね、情報交換などを行い、地区アセスメントを行う事が出来た。

8 その他




# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	14,190	23,336	151					5,789
	介護保険収入	0			5,600	29,377	82,513	6,084	
	その他	0	0	0	298	266	1,459	0	0
	介護予防ケアマネジメント費								
	他				298	266	1,459		
	<b>収入合計(A)</b>	<b>14,190</b>	<b>23,336</b>	<b>151</b>	<b>5,898</b>	<b>29,643</b>	<b>83,972</b>	<b>6,084</b>	<b>5,789</b>
支出	人件費	8,978	20,073		1,109	18,096	56,377		3,647
	事務費	2,891	1,903		3,000	847	10,453		
	事業費	51	69	145	34	130	13,964		208
	管理費	5,461	1,452						
	その他	1,133	519	0	455	432	5,978	0	0
	施設使用料相当額								
	協力医謝金		420						
	消費税他	1,091	99		455	432	5,978		
	運営協議会	42							
	<b>支出合計(B)</b>	<b>18,514</b>	<b>24,016</b>	<b>145</b>	<b>4,598</b>	<b>19,505</b>	<b>86,772</b>	<b>0</b>	<b>3,855</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-4,324</b>	<b>-680</b>	<b>6</b>	<b>1,300</b>	<b>10,138</b>	<b>-2,800</b>	<b>6,084</b>	<b>1,934</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額				
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
介護者のつどい	地域住民	10,716	10,716			10,716
	78					
	0					
にこにこ茶話会	地域の高齢者	10,917	10,917			10,917
	203					
	0					
食事会①	高齢者	53,050		53,050	53,050	
	104					
	500					
食事会②	高齢者	41,500		41,500	41,500	
	83					
	500					
運営協議会食事会	高齢者	17,050	0	17,050	17,050	
	31					
	550					
はなみずき	高齢者	100,050	0	100,050	100,050	
	207					
	職員350と500					
大人のビーズ教室	地域の方	42,341	0	39,000	3,341	39,000
	39					
	1000					
さつきが丘秋祭り	地域住民	162,708		625,195		462,487
	450					
PC講座	地域住民	9,000		9,000	0	9,000
	18					
	無料体験と500					
古典文学を 楽しもう	地域の方	30,400	0	30,400	0	30,400
	200					
	152					
バードカービング	地域の方	12,000	5,538	6,462	5,538	6,462
	6					
	無料体験と1000					
きれいヨガ	地域の方	5,600	0	5,600	0	5,600
	28					
	無料体験と200					
アロマ講座	地域の方	26,682	6,682	20,000	6,682	20,000
	25					
青葉台キネマ横丁	地域の方	21,500	0	21,500	0	21,500
	43					
	500					
お弁当に入れても美味しい	地域の方	8,741	3,341	5,400	3,341	5,400
	9					

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おかずと衛生管理講座	600						
手作り肉まん・あんまん	地域の方	18,341	3,341	15,000	3,341	15,000	
	30						
	500						
かるがもランチ	地域の親子	19,341	3,341	16,000	3,341	16,000	
	32						
	500						
発酵食品を楽しむ会 甘酒ワークショップ	子ども	61,580	0	61,580	0	61,580	
	37+4						
	1620(410)						
クリスマス料理講座	地域	9,900	0	9,900	0	9,900	
	11						
	900						
歌の会 クロマチックハーモニカと共に	地域	1,400	0	1,400	0	1,400	
	14						
	100						
男の太極拳	地域の男性	25,600	0	25,600	0	25,600	
	8						
	3200						
つるし雛講座	地域住民	288,390	23,390	265,000	23,390	265,000	
	225						
	1000(2000)						
ゆかた着付け講座	地域住民	5,341	2,000	3,341	2,000	3,341	
	10						
	200						
元気DE英会話	地域の高齢者	8,600	0	8,600	0	8,600	
	43						
	200						
手づかい人形講座	地域の方	9,954	4,454	5,500	4,454	5,500	
	11						
	500						
小袖会	地域の方	23,000	0	23,000	0	23,000	
	46						
	500						
小物巾着	地域の方	3,000	0	3,000	0	3,000	
	6						
	500						
さつきシネマ	地域の方	3,900	0	3,900	0	3,900	
	39						
	100						
事業ごとに別紙に記載してください。							
	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
事業名	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
さつき食堂	地域住民	15,000	0	15,000	0	15,000	
	35						
	400-500						
サンデーヨガ	地域の方	90,000	0	90,000	0	0	90,000
	32						
	3000						
スノークッキーを焼こう	親子・子ども 3 900		3,341	2,700	3,341	2,700	
ジャザサイズ	子ども	2,000	0	2,000	0	2,000	
	4						
	500						
ハーブと生活講座	地域の方	39,364	13,364	26,000	13,364	26,000	0
	26						
	1000円						
ノンストップイングリッシュ	親子	9,726	2,226	7,500	2,226	7,500	0
	15						
	500						
今日は1日ケアプラザ 夏の余暇支援	地域の多世代の方	5,568	5,568	0	5,568	0	0
	30						
さつき茶道部 なごみ	地域の方	49,500	0	49,500	0	49,500	0
	99						
	500						
千支人形を作ろう	地域の方	15,187	2,227	12,960	2,227	12,960	0
	12						
	1080						
読み語り講座	地域の方	49,137	11,137	38,000	11,137	38,000	
	76						
	500						
四季のコンサート オカリナと音楽療法	地域の方	1,800		1,800			1,800
	6						
	300						
背骨親子コンディショニング	地域の親子	28,682	6,682	22,000	6,682	22,000	
	11						
	2000						
背骨コンディショニング	地域の方	60,682	6,682	54,000	6,682	54,000	
	3000						
	18						
日赤救急法資格取得講座	地域の方	60,800	0	60,800	0	60,800	
	1600						
	38						
	地域の方						



# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	主に在宅介護介護者の交流、情報交換ができるようにする。介護者が抱え込んでいる悩みや疑問を皆で共有しリフレッシュできる雰囲気茶話会形式で行った。	基本月1回 (8・1月休会) 10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さつき盆踊りの会	盆踊りを通じて、健康維持と仲間づくりを図る。元気づくりステーション。今年度は秋祭りで発表を行い、また「くろがね太鼓」とコラボレーションしてデイサービスへの慰問、地域の夏祭りにも参加した。	概ね月1回 11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ茶話会	地域の高齢者を対象。介護予防、外出のきっかけを作り、見守りを目的に開催。月替わりのレクリエーションを企画して、参加者同士の交流をはかり参加中個人の様子をヒアリングし、見守りにもつながる活動を行った。近隣の小学生との交流会も実施した。	基本月1回 (8月、10月休会) 10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事会①	高齢者の引きこもり防止と見守り、参加者同士やボランティア男性グループ(いきいきセミナー修了生「1期生: 料理クラブ」)との交流、食後はオカリナサークルと斉唱し声を出すことを継続して行った。	奇数月第2水曜日 6回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事会②	高齢者の引きこもり防止と見守り、参加者同士やボランティア男性グループ(いきいきセミナー修了生「2期生: いきいきグループ」)との交流、食後は会長司会で漢字の難問を解き、継続して脳トレを実施した。	奇数月第3水曜日 6回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康体操①②	身体機能の維持や改善を目的とする健康体操。運動不足の解消や定期的に仲間と交流することで介護予防の効果を期待する。年に数回講師を囲んで茶話会も行う。	①毎月第1.3月曜日 ②毎月第1.2.3月曜日 ①②合わせて年間 52回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おしゃべりサロン	在宅介護者や独居老人のコミュニケーション作り。茶話会形式で行い見守りもかねて行っている。	毎月第4土曜日 11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきセミナー修了生OB会	いきいきセミナー修了生1~5期生が縦割りでボーリング、麻雀トーナメント、ゴルフ、街歩きなどを企画し参加をする。職員も加わって懇親する場合がある。	年2回~5回 5回開催

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てわいわい広場	子育てに関する相談や情報提供、交流の場を提供することで、育児不安の解消を図る。ボランティアが活動に参加してくれることで、おしゃべりをしたり、相談を気兼ねなくできる環境を提供代交。また他人に任せて自分のリラックスを取り戻し育児疲れを解消できる時間を提供している。また母子分離の自信をつける場としても活用。民生委員さんが毎回参加することで、親子の見守りをし、何かあれば専門機関と連携して解決している。	毎月3～4回実施 38回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
四季のコンサート	今年度は「絵本コンサート」「スプリングオカリナの調べと音楽療法」を行った。	年1～4回 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハッピードロップ	講師を招いて「読み語り講座」を開催した。世代間のグループができて継続した勉強会、交流会、ボランティア活動が始まった。	月1回 14回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクティブセルフ	包括主導ものと体幹を鍛えて健康を維持することを目的に介護予防の一環として開催した。	月1回 11回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サンデーヨガ	C団体が5名になり存続の危機とのことで、会の方との協働で日曜日の緩めのヨガの講座を開催したところ30名の会員が募れた。中には介護者と本人の参加があり、日曜日のシニアの居場所と仲間づくりになった。	月2回 15回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
麻雀教室①② 初級～中級	引きこもり防止、脳の活性化で認知症予防につなげる。参加者同士の交流。講師にはボランティアを募りボランティア育成と活躍の場の提供も目的としている。講師の遣り甲斐にもなっている。	①②毎月2～3回 ①②合わせて78回 開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
粹生クラブ	いきいきセミナー修了生。定年退職した男性が地域の仲間づくり、生きがい探しやボランティア活動を行う。調理実習や健康体操、施設見学など屋外での活動も行う。主に食事会①、麻雀①、デイサービス、子育てワイワイひろばでのボランティアで活躍中。今年度15周年記念誌を発行した。	毎月2回 14回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきグループ	いきいきセミナー修了生。定年退職した男性が地域の仲間づくり、生きがい探しやボランティア活動を行う。地域向けに「園芸講座」主催。他食事会②、麻雀②、デイサービス、子育てワイワイひろばでのボランティアで活躍中。	毎月2回 24回開催

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エプロンおやじ会	いきいきセミナー修了生。定年退職した男性が地域の仲間づくり、生きがいづくりやボランティア活動を行う。調理実習や健康体操、施設見学など屋外での活動も行う。主には初心者麻雀、デイサービス、子育てワイワイひろば、秋祭りや地域の餅つきボランティアで活躍中。今年度はつつじヶ丘自治会があ初めて行う餅つき行事に会として協力し日頃のノウハウをもって貢献した。	毎月2回 20回開催
食遊クラブ	いきいきセミナー修了生。定年退職した男性が地域の仲間づくり、生きがいづくりやボランティア活動を行う。調理実習や健康体操、施設見学など屋外での活動も行う。主には初心者麻雀、デイサービス、子育てワイワイひろば、福祉祭り、秋祭りボランティアで活躍中。今年度は主として運営協議会のメンバー向けに食事会を行った。	毎月2回 24回開催
五期会	いきいきセミナー修了生。定年退職した男性が地域の仲間づくり、生きがいづくりやボランティア活動を行う。調理実習や健康体操、施設見学など屋外活動も行う。主には麻雀②、デイサービス、子育てワイワイ広場、秋祭りで活躍中。今年度は運営協議会のメンバー向けに食事会を開催した。	毎月2回 22回開催
いきいき手先講座	多世代交流で小学生の運針、手作り親子講座、ビーズ制作などを通じ細かい手先の運動から脳の活性化をはかり、認知症の予防につなげる。また、仲間との交流を目的として行った。	講師都合 4回開催
野ばら(フォークダンス)	地域の高齢者を対象に介護予防・外出のきっかけ作り。創作やレクリエーション、発表会やデイサービス慰問も行った。	毎月2回 21回開催
はなみずき	独居で支援や見守りが必要な地域の高齢者へ手作り弁当を届けることで見守り活動を行う配食サービス。作り手のボランティアのいきがいづくりと、担い手の発掘育成で地域の活性化をはかる。仲間づくりと、やりがい作り。	毎月1回 12回開催
さつき墨会	経験豊富な講師を囲み、水墨画を通して交流や生きがいを見出す。年に1回展覧会や秋祭りでも多くの作品を展示している。	毎月2回 25回開催
秋祭り	地域住民とボランティア、地域ケアプラザとがともに準備をすすめながら、地域住民やボランティアと交流し、絆を深める。地域に向けてケアプラザを周知する。小中学校、自治会との懇親も目的の一つ。今年度も盛大に行われた。	年1回



# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

事業名 生活を豊かにする会	目的・内容 日曜日のシニアの居場所づくり。布草履を作りながらお話を する。昼食を持参して朝から15時くらいまでの活動をする。	実施時期・回数 月1回 3回開催
事業名 背骨コンディショニング	目的・内容 講師を招いて、腰通軽減や背骨のズレを意識した体操を行 う。	実施時期・回数 年間8回×2回 16 回開催
事業名 運営協議会向け 食事会	目的・内容 当ケアプラザで活動中の男性の料理の会とケアプラザの運 営に携わっている構成員との懇親。	実施時期・回数 年2回 2回開催
事業名 ボランティア応援 隊	目的・内容 包括主導で地域向けの認知症サポーター養成講座開講、ボ ランティア育成講座、実践講座（コーヒーの入れ方な ど）、登録会を行った。	実施時期・回数 単発 3日で1ク ールとして開催
事業名 さつきシネマ	目的・内容 地域の方が懐かの映画を気軽に鑑賞できる居場所づくりと 見守りを兼ねた活動。	実施時期・回数 月1回 9回開催
事業名 歌の会〜クロマ チックは〜mッ モニカと共に〜	目的・内容 クロマチックハーモニカの奏者に合わせて童謡、唱歌をメ インに歌唱する。会の中ごろに講師の独奏も交えている。	実施時期・回数 月1回 3回開催
事業名 カラダいきいき セミナー	目的・内容 長津田総合厚生病院の医師を招いて、眼と関節尾	実施時期・回数 年2回 2回開催
事業名 ガンバルンバさ つき組	目的・内容 谷本中学校生徒向けの学習スペースの提供。中間、期末、 夏休み中。	実施時期・回数 3回、1回5日〜8日 12回開催
事業名 初めてのピザパ ン講座	目的・内容 春休みの親子と子どもが集って調理と試食をした。	実施時期・回数 単発 1回開催
事業名 エリア別子育て 意見交換会	目的・内容 ラフル主導で区の職員、民生委員、地域の保育園職員な どエリア子育てについて話し、顔の見える	実施時期・回数 月1回 10回開催
事業名 福祉保健セン ター子育て支援	目的・内容 区の福祉保健課の職員と民生委員の手伝いで新米ママと赤 ちゃんが集うスペースと情報提供の場	実施時期・回数 月1回 10回開催
事業名 親子リラックス 体操（背骨C0）	目的・内容 乳児から未就園児までの親子が集う場。マットにお子さん を寝かしたままママの体操、親子のコミュニケーションの 仕方を学ぶ。	実施時期・回数 単発 4回で1ク ールを年に2回開催し た。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジャザサイズ	小学生の余暇支援でジャズダンスと講座の日を設けた。	単発 3回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン講座	地域の中の仕事、プライベートのPC技能の個々の目的に応じたお困りごとを講師が相談にのり解決していく講座。概ねワード、エクセルを中心にテーマを設けてグループで学ぶ。	概ね日いずれか毎月2回 25回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典文学を楽しむ会	「伊勢物語」を中心に今年は大和物語、参加者の希望に即した古典を読み進め、歴史背景、人物像に迫る。音読の機会も作り、声を出す機会もつくる。生きがいつくり、仲間つくり、認知症予防も目的に行っている。	概ね毎月2回土曜日 18回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
バードカービング	アメリカの歴史に根付く木彫りの鳥を掘り染色する。講師を招き手法を学ぶ。手先と想像力、表現する喜びを知る。製作は隣人と助け合い、話をしながら進めていく中で仲間意識を養う。壮年から高齢者までと異世代交流として開催した。	毎月1回～2回 21回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
手づかい人形講座	講師を招き、手人形製作。親子のコミュニケーション、シニアの孫へのプレゼントとして活用。講師率いる人形劇団の公演も観劇した。	2回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
リラックス・きれいヨガ	呼吸を大切に優しいヨガ教室。健康づくりと仲間づくりと目的に行った。きれいヨガはケアプラザの夜間の貸館稼働率UPも目的として開催。	月に3～4回 38回開催
男の太極拳	講師を招いて定年退職後の男性の居場所づくり。健康増進と仲間づくり。	月15回開催 月1～2回
子ども。親子向け食育講座	子どもや親子に向けて発信、食育や料理に親しむ講座。お菓子作りも含む。	年10回 10回開催
母親世代～高齢者向け食育・料理講座	専門講師やヘルスメイトとの共催で、すでにある男性調理グループや配食サービス高齢者ボランティアも含めて地域に食育や調理の輪を広げる。	年4～6回 6回開催
わたしのつるし雛	1回に1つモチーフ製作。毎回参加しなくても自分の好きな個数を作って楽しむ。年間講座にすることで、通年で参加者の見守りにつながった。	毎月2回 13回開催
元気DE英会話	高齢者の英会話中心の茶話会。昔の生活や記憶をたどり仲間と楽しい時間を過ごす。講師を招いて、短いセンテンスをテーマを決めて復習しスキルアップも行う。認知症予防と仲間づくりを目的に行った。	月に2回 22回開催

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

小袖会	プロの講師に習う着付け。箆笥の中に眠る和装を引き出し、整理、活用の両面からアドバイスをもらいながら、着付けを学ぶ。	月2回 年6回開催
夏の浴衣着付け講座	講師を招いて、浴衣の着付け方を学ぶ。自身のためのみならず子どものために来館した方も数名いた。着付けた浴衣でそのまま外出される方もいた。	年2回7月 年2回開催
アロマ・ハーブ講座	子どもから高齢者までの多世代向けの講座。生活に役立つ知識や利用できるものをつくる。アロマに香りに包まれたリラックスした空間とハーブティでの茶話会もありやハーブの専門の講師をまねき、料理への活用や健康の講話を行った。若年～壮年層をターゲットに地域の新しい担い手発掘にも結び付けるきっかけにもなるように単発で繰り返し行った。	年4～6回 6回開催
干支人形を作ろう	酉の人形を作った。人気で2回。	年1回 2回開催
個人情報保護についての講座	青葉区社会福祉協議会後援で生活支援CO主導で開催。講師を招き民生員、自治会関係者、地域住民に広く周知した。	1回開催
日本赤十字社防災関連講座	日本赤十字社共催、青葉区社協後援で単発の講座2回、4回コースの救急員資格取得講座を行い、地域レベルでは高齢者が集まって、自宅での転倒や万が一の時の災害の備えを学んだ。また区レベルでは40名の参加者を集い、防災救	年1～6回 単発2回、4日間の資格取得コース1回開催
失敗しない資産管理	地域包括支援センター主体で地域住民向けに講師を招いて行った。	1回開催
終活エンディングノートを書くために	地域包括支援センター主体で地域住民向けに講師を招いて行った。	1回開催
健口講話	余暇支援も目的に夏期に開催。歯科医師を招き、子どもから高齢者までの口腔内のケアの話や実践を行った。医師の趣味である「バグパイプ」の演奏もあり、多世代が集う楽しい会になった。	1回開催
歩こう会	地域包括支援センター、区主導の元気づくりステーション。グループで検討したコースを歩く。生きがい、仲間づくりに結びついて継続した活動が展開されている。区の職員や包括の職員も参加。	毎月1回 19回開催
発酵食品を楽しむ会	保健師の講話や体操なども取り入れて、講師を招いて発酵食品についての講話と試食を行った。28年度はみそづくりを甘酒ワークショップを開催した。	不定期 2回開催

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ

夏の一コマ体操	夏休みの一定期間を解放し、毎日ラジオ体操や紙芝居、読み聞かせを行う。多世代交流、夏休みの子どもの見守りと居場所づくりとして行った。	夏期限定 16回開催
---------	---	---------------

今日は1日ケアプラザシリーズ	1本の長い企画を通して、ケアプラザで時間を気にせず過ごしていただく内容。今年度は夏の余暇支援を兼ねて、子どもと親子向けの講座、後半は子どもから高齢者までの歯の講話で多世代が多数参加した。	1回開催
----------------	---	------

ノンストップイングリッシュ	初めから終わりまでが英語でレッスンの右脳教育。最後にベテラン講師やケアプラザ職員が地域のお母さんの子育ての悩みの相談相手となって育児のストレスも解消できる居場所や環境を提供した。	3回開催
---------------	---	------

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター主導のもと、小中学校や地域向けに行った。	プラザ内外 5回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コピカ歯磨き教室	区との連携で未就園児向けに歯についての健康講話を行った。虫歯チェックも行った。	1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレンジメント	プリザーブドフラワーも取り入れて季節感溢れるアレンジを、講師を招いて教わる。障がいのある方も参加している。生きがい、仲間づくりに繋がりグループ化を目指している。	年10回 8回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さつき茶道部 なごみ	本格的な茶道具を使用し、講師を招きワンポイントレッスンのあと、お茶と茶菓子で会話を楽しむ。若年層方高齢者までの世代間交流と生きがいと健康作り。包括から紹介を受けた介護者と本人の参加もあり、見守りも兼ねたカフェになっている。秋祭りや地域の方向けのカフェなどでのボランティア活動へ発展し始めている。	年間10回 10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しらとりサロン	谷間になっていてCPに通いにくい地域「しらとり台」住民が通えるために行っている	毎月1~2回 21回開催